

考古學入門



濱田青陵

濱田青陵著

考古學入門

創
元
社

考古學入門

昭和十六年九月廿五日 印
昭和十六年十月一日 發行
昭和十六年十二月十五日 第二版發行

ナカニイ 伊奈るん



版元

株式會社

創元

元

社

著者
發行者
印刷者

定價 壹圓四拾錢
濱田 青陵
矢部 良策
井下 精一郎
大阪市西區阿波座中通二丁目四

大阪市北區樋上町四五番地
電話北⑥三六八六・三七〇八番
振替大阪五七〇九九番・東京一五六五番

(日本出版文化協會員 第一五、五〇一號)

配給元・日本出版配給株式會社

は し が き

私は『博物館』といふ題で書くことになりましたが、何分博物館といつても、美術考古博物館もあり、科学博物館もあり、そのほかいろいろの博物館があるので、それを一々説明すれば百科の學を講釋することになり、それは私には出来ない藝當であるのみならず、一冊の本にはとうてい収め切れません。しかし幸ひ美術や自然科学のお話は、別に諸先生が筆を執られてゐることと思ひますから、私は博物館のうち考古學の博物館のことだけを書くことにし、この一冊の本によつて若い人達に考古學の大體のお話しをすることにしたしました。たゞ何分書物の標題が『博物館』となつてゐますので、始めに少しばかり博物館全體のことを述べて置きます。

考古學のお話しをする爲には、どうしても實物をお見せするか、せめて寫眞や繪をお目につけなくてはよくわかりかねます。それで、この本にもわりあひにくさん繪を入れて置きました。そのうち霜島正三郎先生の手になつたものもあります。便宜上私の描いた拙い素人畫もたくさんあるのは、おゆるしを願ふほかありません。またこの本を書くにあつて、松本龍太郎さんにいろ／＼御厄介になつたことを、ここで厚くお禮を申しあげて置きます。

昭和四年七月

濱 田 青 陵

目次

はしがき.....一

第一序の巻

一 博物館とはどういふ所ですか.....五

イ 博物館の種類.....五

ロ 博物館の施設.....九

二 世界各國の博物館.....一五

イ イギリスの博物館.....一五

ロ フランス、ドイツその他の博物館.....二

ハ アメリカの博物館.....二六

ニ 世界で珍しい博物館.....三〇

第二 考古博物館の巻（上）

一 考古學とはどういふ學問ですか	三
------------------	---

イ 考古學と考古博物館	三
-------------	---

ロ 人類の始め	四
---------	---

ハ 文化の三時代	五
----------	---

二 舊石器時代室	五
----------	---

イ 舊石器の種類	五
----------	---

ロ 舊石器時代の繪畫など	六
--------------	---

三 新石器時代室	六
----------	---

イ 貝塚と湖上住居	六
-----------	---

ロ 磨製石器と土器	六
-----------	---

ハ 巨石記念物	八
---------	---

ニ 金屬の發見と使用	九
------------	---

第三 考古博物館の卷 (下)

一 日本先史時代室	九
-----------	---

イ 日本の石器時代	九
-----------	---

ロ 貝塚、墓地などの遺跡	一〇五
--------------	-----

ハ	石器と骨角器	二三
ニ	土器と土偶	二六
ホ	朝鮮と支那の石器	二五
ヘ	青銅器と銅鐸	二四
二	日本原史時代室	一五
イ	日本の古墳	一五
ロ	埴輪と石人	一五
ハ	石棺と石室	一六
ニ	上古の皇陵	一六
ホ	勾玉などの玉類	一八
ヘ	古　い　鏡	一九
ト	刀劔と甲冑	一九
チ	馬具、土器その他	二〇
リ	建築、彫刻、繪畫など	二三
ヌ	古瓦と古建築	二九
三	朝鮮滿洲の古墳室	三五
イ	南朝鮮の古墳	三五

目次

四

ロ 北朝鮮及び満洲の古墳……………三〇

あとがき……………梅原末治

考古學入門

— 博物館 —

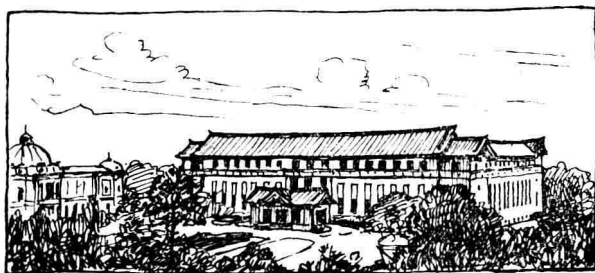
第一
序
の
卷

一 博物館とはどういふ所ですか

(イ) 博物館の種類

皆さんは、博物館はくぶつかんといふ所を見たことがありますか。博物館にはいろいろの美しいものや珍しい品物が並べてあります。皆さんのなかには、博物館に並べてあるものは金銭で買ふことの出来ないといふことが、たゞ三越や大丸などの百貨店デパートメントストアと違つてゐるところだと思ふ人があるかも知れません。またそれらの店よりも面白いものや綺麗な物が少いところだといふ人があるかも知れません。しかし博

博物館と百貨店との違ひは、決してそのような點ばかりではないのです。百貨店ではお客の眼を惹くように、美しいものや珍しいものを、たいてい、なんの秩序もなく竝べ立てゝありますが、博物館の陳列品は皆、種類をわけ順序をつけ、その品物には一々わかるような説明をつけて、それを見て廻るうちに自然に學問が出来るようにしてあるのです。それで博物館は品物を買ひに行くところでもなく、また遊びに行くところでもありません。皆さんの學校と同じように勉強をしたり、學問をする場所なのです。もつとも學校と違ふところは、博物館には先生がをられません。また時間も一時間づゝきまつて勉強するようには出来てをりませんから、誰でも博物館に行つた人は、自由に勉強が出来、時間にしばられるといふ窮屈きよくな思ひはありません。けれども、先生のように親切に教へて下さる人はなく、休みの時間にお友達と面白く遊ぶことが出来ないから、時には退屈することもありませう。



第一圖 東京帝國博物館

博物館には皆さんの知つてゐるように、種々の品物が並べてありますが、大抵はある種類のものばかりを選んで、陳列してゐるのです。例へば東京の上野公園や、奈良にある皇室博物館とか、また京都の恩賜京都博物館、大阪天王寺公園の美術館などには、古い繪畫や彫刻や、陶器ちようきなどのような美術品ばかりが陳列してあります。このように美術品ばかりを陳列する博物館を美術博物館あるひはこれを略して美術館とも呼びます。それから歴史に關係ある品物ばかりを陳列した博物館は歴史博物館といひます。また礦物や動植物のような博物學に關する標本類ばかりを陳列してある所は博物學博物館といふことが出

來ます。その他貝殻ばかりを並べた貝類博物館、電氣に關するものを並べた電氣博物館といふように、陳列品の種類は大わけにも小わけにも隨意に區別することが出來ます。

私達の知識を廣め學問の爲になる品物は千差萬別で、その種類は實に無限に多いのでありますから、これをみんな一つの場所に集めて陳列することは容易でありませんし、またさうした博物館をこしらへるには非常に大きな建物が入る、それを見て廻るだけでも二日も三日もかかり、かへつて不便になります。だから世界のどの國でも、陳列物の種類によつて博物館をわけてをります。それで大きくわける場合は大抵前に申した美術や歴



第二圖 恩賜京都博物館